

TTC ゆった〜り山行実施記録表 2015年12月23日 報告者:SY

山行名	厚木の歴史散策 旧依知村を歩く															
実施日	平成27年12月23日(祭日)	日帰り	公共交通機関利用													
天候/参加人員	天候:曇り後雨	レベル:★	参加人員:13名(男性4名/女性9名)													
パーティスタッフ	GL/計画:、SL:、会計・救護:なし、写真: <b>スタッフ名削除</b>															
参加メンバー	<b>参加者氏名削除</b>															
費用 一人当たり 540円 (本厚木駅起点)	【内訳】 本厚木バスセンター～依知神社前、360円 金田～本厚木バスセンター、180円															
歩行/行動時間		歩行時間	休憩時間など	行動時間												
	ガイドブック	—														
	計画	—	—	～6:00												
	実行	3:26		6:42												
<b>実行コースタイム記録</b>																
バス	0:05	0:20	0:11	0:07	0:19	0:30	0:10									
バスセンター＝＝依知神社前……浮島弁天……妙傳寺……瑠璃光寺……宝泉寺……本立寺……長福寺…	8:55	9:26	9:42	9:47	9:58	10:18	10:39	10:50	11:00	11:07	11:25	11:44	11:55	12:25	12:30	
	0:15	0:07	0:10	0:09	0:31	0:28	0:04	バス								
山際神社……(昼食)…大信寺……蓮生寺……安龍寺……広徳寺……妙純寺……金田バス停＝＝厚木バスセンター	12:40	12:45	13:00	14:07	14:10	14:20	14:24	14:43	14:46	15:17	15:30	15:58	16:04	16:08	16:18	16:30
	14:00															
<b>コースの概要、特記事項、反省事項等</b>																
<p>山行とは云えない街歩きをTTC行事では初めて実施。13名もの参加者が集まり、歩くのが好きな人たちが多いか、あるいは歴史が好きなのか、または暇(?)なのか、いずれにしてもうれしいかぎりである。自分の住んでいる町の歴史を知ることの楽しさ、たとえ三歩歩くと忘れてしまってもやはり楽しいと思う。</p> <p>曇り空で寒さが身に凍みる中、厚木バスセンターに全員集合。バスで依知神社前下車。依知村の誕生と依知神社の解説をみんなで読み、明治10年徴兵され西南戦争で初めての戦死者の石碑を偲びスタート。浮島弁天の物語を語り、妙傳寺では日蓮の「星下りの奇端」を伝える市内三寺の一つで、この話をして寺の門の両脇を守る二天門と境内の右手の二階建てをぶちぬく大きさの木造釈迦如来立像の大きさにびっくり、このお釈迦様の右手しぐさは『施無畏』左手は『与願印』それぞれ意味があるという、では五郎丸選手の手の表情は、みんな考えたが想像に任せることに、私は人差し指を合わせているので「あの子と差しで食事」と思っている。</p> <p>瑠璃光寺は厚木市では少ない「時宗」のお寺で、一遍上人ゆかりを伝える榎(なぎ)の木がある、もう何代目かの木であろうか、古木ではないがこの木の葉を持っていると人生は風ぎのように過ごせると云うと、みんな競う様に葉を拾っていた、きっと人生波乱万丈なんだなあと同情したりして。財布に入れると無駄な散財がなくなるそうで、財布に入れる人が多い、私もその一人でした。でも考えてみると我が財布には散財したくても元々お金が入っていないことに気がついてがっかり、みなさんお金持ちなんですね。</p> <p>宝泉寺は参加者のHMさんの従兄弟のお寺だそうで、ご住職さんも外へ出てきてお話をした。「今日は何をしているの」と質問され「うん歩いているの」と答えていたが、これって答えになってないと思うのだが「そうかい」って納得したようだった。傍に居た私が納得できなかった。猿が島の広大な田畑から長福寺へは馬坂を登るがお昼の時間が過ぎていたのでお腹が空いて坂がきつい、だから馬坂と書いて「まさか」って読むんだと誰か。長福寺より今は空腹寺です、早く満腹寺へ行きたい。途中の山際神社もそこそこに関口へ急ぐ、関口に着くと一番近いインド料理へ吸い込まれるように入って、結局全員インド料理を味わうことに。「何んだみんな入っちゃった」出てきた料理は大きな「なん」、なんだなんだと納得、でも美味しかった。</p> <p>日蓮の「星下りの奇端」を伝える三寺の一つ蓮生寺を見学、私はここが本命と考える。日本の歴史第六巻を見て「六感」でそう思う。浅間神社の鐘の物語を読んでいるともう時間がなく、途中の古墳や神社を通り過ぎ「星下りの奇端」を伝える最後の寺、妙純寺を見学、どの寺も自分の所が本命だと主張していておもしろい。今回はこれで終了、参加されたみなさま山と違った散策いかがでしたか、ありがとうございました。</p>																